



きたそらち

2024
2月号
No.275

～農業振興を通じて地域社会へ貢献～



常勤役員の5名が令和6年の抱負を漢字一文字で表す
「一文字抱負」を行いました！ぜひYouTubeをご覧ください♪

JAきたそらちでは、ホームページ/Facebook/
Instagram/YouTubeで、魅力満載の情報を
発信中です！ぜひ、ご覧ください！



ホームページ



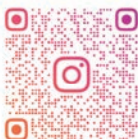
YouTube



Facebook



Instagram



JA.HITASORACHI

目次

- 北育ち元気村花き生産組合 通常総会 …… 2
- 若い力で深川市を盛り上げる！
「青年部深川支部」設立総会 …… 3
- 幌加内町もち米生産組合 鏡餅を贈呈 …… 6
- 営農懇談会 開催 …… 10～12



被災地へ深川産米「ななつぼし」を提供

令和6年元旦に石川県で発生した能登半島地震を受け、「たどし認定こども園かぜっこ」の殿平真園長が1月21日、被災者支援活動の一環として被災地である石川県穴水町にある光琳寺保育園で炊き出しを行った。

1月17日、支援活動の応援のため当JAの岩田清正組合長が同園（多度志）を訪れ、「被災地で困っている皆さんに美味しいご飯を食べてもらいたい」と深川産米「ななつぼし」の無洗米20kgを提供した。

炊き出しには炊き込みご飯と合わせて石狩鍋が振舞われた。

殿平園長は「現地が日常を取り戻せる活動となるよう支援していきたい」と話す。



第27回北育ち元気村花き生産組合 通常総会

北空知 広域連

1月17日、北育ち元気村花き生産組合（田村昌之組合長）の通常総会がラ・カンパニョホテル深川で開催され、生産者や市場を始めとする関係機関など137名が参加した。

当日は総会に先だってHBC北海道放送（株）の森結有花アナウンサーによる「『どろんこアナウンサー7年目』～北海道農業が教えてくれたこと～」と題した基調講演が行われた。講演では、森氏が出演する「あぐり王国北海道NEXT」で取材をした北海道の農畜産物の意外と知らない豆知識や撮影の裏側などクイズを交えながら紹介。森氏は「酷暑・世界情勢など自分ではどうにもならないものと戦い、沢山の人の暮らしや命を支える農業はかっこいい。今後も農業は楽しい！かっこいいという事を伝えていきたい。北海道農業を一緒に盛り上げていきましょう！」と呼びかけた。

その後行われた通常総会では、開会にあたり田村組合長が「去年は記録的な猛暑で品質の低下・収量の減少へと繋がったため夏場の高温対策が急務。多様化する需要に柔軟に対応し、品質の向上を図りながら同組合のブランディングを一層強化していきたい」と挨拶。

出荷共励会の表彰では、7部会34名が表彰され、代表品目のシヌアータ部門では通常表彰で野原利文氏（一已地区）が最優秀賞に輝いた。

同組合では令和5年度の販売数量が約27万9400箱、販売額は15億1380万円と昨年の販売額16億円には届かなかったが、今回も道内トップの販売額となった。

なお、新役員は右記の通り。

役職名	氏名	地区
組合長	田村 昌之	妹背牛
副組合長	内藤 敬人	音江
副組合長	松本 和宏	北竜
会計	室田 健一	沼田
理事	尾崎 雅一	深川
理事	菅原 浩道	納内
理事	遊佐 稔	多度志
理事	永野 義典	雨竜
理事	越智 利政	秩父別
監事	神尾 誠	一已
監事	定講 保男	妹背牛



今後の街づくりに向けて…深川市包括連携協定の締結

12月19日、深川市、深川商工会議所、拓殖大学北海道短期大学、当JAの四者が地域の課題解決や活性化、大学の教育・研究の充実を図り、地域社会の発展に寄与することを目的とした包括連携に関する協定書を締結した。

当日、市役所で調印式が行われ、田中昌幸市長、広野勝利会頭、田中英彦学長、岩田清正組合長が出席し、それぞれ協定書に調印した。

田中市長は「今後の街づくりや子どもたちの未来のためにも連携協定が素晴らしい成果を上げられるよう取り組みを進めていきたい。」と挨拶した。

今後四者は、農や食に触れる場の提供や新規就農者・農業を志す地域おこし協力隊へ向けた短期的な研修など新たな取り組みを計画している。



若い力で深川市を盛り上げる!

「きたそらち農業協同組合青年部深川支部」設立総会

12月21日、深川市経済センターで「きたそらち農業協同組合青年部深川支部」の設立総会が開催され、部員・関係機関あわせて64名が参加。支部長には、大井研太氏（多度志支部）が就任した。

これまで深川市内の青年部は、平成12年のJAきたそらち青年部（深川市内5支部、雨竜支部、北竜支部、幌加内支部）発足後も本部活動と並行して、旧単協があった各地区5支部（一已、音江、深川、納内、多度志）による活動を精力的に行ってきたが、近年は地域の高齢化と後継者不足による部員数の減少と役員への担い手不足が慢性的に続いていた。それらの課題に直面した中で、令和5年1月、市内各支部の支部長は合併出来るかの可能性を探るために「深川市内5支部合併推進協議会」を設立。計9回の協議会を経て、人数が多いからこそできる事業の充実・地域の垣根を超えた横の繋がり強化・さらに充実した青年部活動を行うという意義のもと、市内各支部それぞれが令和5年度をもって解散し、この日、「きたそらち農業協同組合青年部深川支部」を立ち上げた。

同協議会の発起人代表を務めた大井支部長は「今回の合併は“人が少なくなったから合併する”という後ろ向きなものではなく前向きなもの。今後充実した事業運営、横のつながり強化、若い力で深川市を盛り上げていくことをしっかりと実践していきたい」と挨拶を行った。

議事では、柏木洋輔氏（深川支部）を議長に選出し、事業報告並びに決算、計画議案が原案通り承認された。また、同支部設立に伴い役員および班長・SNS班の選任も行われた。

なお、新役員は右記の通り。



役	職	氏名	班
支	部	大井 研太	多度志
副	支	北村 勇氣	一已
地	域	佐々木勝哉	多度志
地	域	上島 一也	音江
会	計	遠藤 雅仁	多度志
会	計	浅井 裕貴	納内
代	表	宮田 雅大	深川
監	事	亀上 健太	一已
監	事	横内 優治	深川

第24回 JAきたそらち青年部通常総会

1月16日、JAきたそらち青年部（駒村剛史部長）の第24回通常総会が当JAの本所にて開催され、委任状による出席を含め126名の盟友が出席した。

開会にあたり、駒村部長（音江支部）は「少しずつコロナ禍以前の環境を取り戻し、昨年はスノーメッセージ作成や北ブロック球技大会、部員交流会など対面での活動が活発な一年となった。青年部としては今後も安全安心な農畜産物を生産・供給し続け、地元だけではなく北海道・日本の食料を守ることを信念として日々の農作業に向き合っていく」と挨拶した。

議事では但木広和氏（深川支部）を議長に選出し、事業・決算報告並びに事業計画・予算案などが原案通り承認された。令和6年度より本部長を務める宮田雅大氏（深川支部）は「コロナ禍以前の活動が出来るようになったので今年度は昨年度以上に活発な活動を行っていききたい。また深川市内5支部合併に伴い、本部の役員体制や各支部の持ち回り等を決めていくためにも、役員一同、力を合わせて解決していく」と就任への意気込みを語った。

なお、新役員は右記の通り。



役職	氏名	支部
部長	宮田 雅大	深川
副部長	大井 研太	深川
副部長	沖田 雅宏	雨竜
常任理事	浅井 裕貴	深川
常任理事	北島 和也	北竜
常任理事	花岡 恵佑	幌加内
理事	前田 直輝	深川
理事	松浦 保徳	深川
理事	柏木 洋輔	深川
理事	吉田 翔吾	深川
理事	遠藤 雅仁	深川
理事	折出 一貴	雨竜
理事	岩倉 竜矢	北竜
理事	徳重 雅也	幌加内
代表監事	上島 一也	深川
監事	北村 勇気	深川

令和5年度

JA空知青年部連合会北ブロック総会

1月18日、JA空知青年部連合会北ブロック（川村祐太代表理事）の総会が当JA本所にて開催され、北ブロック管内の青年部（JAきたそらち、JA北いぶき）盟友53名が出席した。

開会にあたり川村代表は「球技大会に始まり、拓殖大学北海道短期大学との意見交換会や北ブロック青年部大会とコロナ禍以前のようにすべての行事を盟友・関係各位の皆様にご協力頂き有意義な活動ができた。北ブロックの活動をさらに良いものにするため皆様からの貴重な意見を頂きたい」と挨拶。

議事では浅井裕貴氏（深川支部）を議長に選出し、事業・決算報告並びに事業計画・予算案などが原案通り承認された。また役員改選により、令和6年度の代表理事を務めることとなった酒田拓也氏（妹背牛支部）は「北ブロックの一大行事である球技大会が行われる際はより多くの部員の皆さまのご参加をお願いしたい。不安な気持ちはあるが役員一同頑張っていきますので、一年間よろしくお祈りします」と就任挨拶を行った。

役職	氏名	JA名	支部
代表理事	酒田 拓也	北いぶき	妹背牛
副代表理事	大井 研太	きたそらち	深川
理事	稲見 昌彦	きたそらち	幌加内
監事	長谷 修幸	北いぶき	妹背牛





うりゅう米3トンを「アルテミス北海道」へ提供

雨竜町とバレーボールVリーグ女子3部「アルテミス北海道」(札幌)は1月18日、札幌市内で開かれた調印式で「包括地域連携協定」を締結した。

調印式には、雨竜町の白川久純町長、アルテミス北海道の工藤浩代表理事、内野咲季選手(背番号4)、奥山優奈選手(背番号7)が参加した。

今後、雨竜町から『うりゅう米』年間3トンをアルテミス側へ提供、同チームは今シーズン着用ユニフォームの背中側に『うりゅう米』ロゴマークをプリント表示する。

また同チームの本拠地「北ガスアリーナ札幌46」のホームゲームでは、『うりゅう米』米粉を使用したマカロンやフィナンシェなどの洋菓子も販売される。

当支所においても、おいしい『うりゅう米』をたくさん食べてリーグ優勝をつかみ取っていただくよう、雨竜町や地域の方と一緒に応援していきたい。

【雨竜支所 松坂】



JAボランティア花菜 社会福祉協議会へクリスマスにお菓子のプレゼント

12月12日、JAボランティア花菜(井上信子会長)がクリスマスプレゼントとしてお菓子の袋詰めを幌加内町社会福祉協議会へ贈呈した。同組織では毎年この時期に同協議会や町内の福祉施設へ贈呈を行っており、今年も井上会長が同協議会を訪問し、デイサービス利用者へ可愛らしいクリスマス柄の袋でラッピングされたお菓子を贈呈した。受け取った利用者の方から「ありがとうございます。お菓子がとても楽しみ」と感謝の言葉をいただいた。

【幌加内支所 岩本】





幌加内町 もち米生産組合

鏡餅を贈呈

12月21日、幌加内町もち米生産組合が鏡餅の贈呈を行い、古林茂組合長と中西博副組合長が当JAや幌加内町、上川総合振興局の3か所を訪問した。

同生産組合では、一年の出荷を無事終えたことへの感謝と翌年の豊作を祈願して毎年贈呈を行っている。

鏡餅は下段が直径21cm、上段が直径18cm、重さは約6kgあり、同町の「北里もちそば組合 片田舎」が同町産の「はくちょうもち」3升を使い作成した。



JAきたそらち本所



幌加内町



上川総合振興局

JA役職員新年交礼会 開催

1月9日、ラ・カンパーニュホテル深川にて、令和6年役職員新年交礼会が全役職員出席のもと4年ぶりに開催された。

岩田清正組合長は、年頭の挨拶で役職員に対し「20年、30年の勤続表彰者には本当に長い期間、農協の事業に携わっていただいた。今後も今までの見識を活かし、さらなる農協事業の発展にご尽力いただきたい。来年度は第8次農業振興計画が始まる。JAのために何ができるか今年1年をかけて皆さんと共に考え、きたそらち農協のために邁進していきたい」と訓示した。

席上、永年勤続表彰や優良運転者表彰が行われ、提案表彰では販売部農産課の辻聖也職員が深川市多度志産馬鈴しょを使用したポテトチップスを商品化したことについて表彰を受けた。永年勤続表彰者については右記の通り。

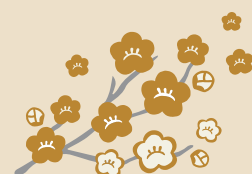


<永年勤続表彰30年>

宇野 誠一（青果部）
丸岡 章一（経済部雨竜資材課）
武田 裕二（経済部北竜資材課）
伊藤 信一（金融共済イチヤン本所）
墓田真知子（総務部人事課）
高桑 陵子（農業振興部営農企画課）
村山 愉香（販売部農産課）
中川 留美（経済部雨竜資材課）
田中 嘉浩（経済部資材推進課）
正田 佳子（深川支所営農課）
墓田 準也（幌加内支所営農課）
荒川 美和（青果部青果課）
西河 康浩（経済部燃料課北竜給油所）

<永年勤続表彰20年>

廣田 淳（農業振興部振興課）
嘉屋 昌直（経済部車両機械課 雨竜自動車整備工場）
一戸 栄治（金融共済部融資課）
吉田 拓哉（深川支所営農課）
伊藤 勝成（雨竜支所営農課）
佐々由衣子（金融共済音江支所）
青柳まり子（金融共済納内支所）
鮫澤由香里（金融共済幌加内支所）





石田邦雄の

農業紡ぎ愛

第31回

新規採用者を迎えるにあたって

もう間もなく新規で採用された職員が貴JAにも誕生します。それにちなみ、この人達の”心理的動き”がどのような過程を辿るかについて今回は考えてみたいと思います。誰もがそうですが当初は不安と期待の葛藤の中でのスタートになります。JAに入組したものの、彼らにはどんな組織か一向にわかりません。その為、不安や、人によっては恐怖感等を抱きつつ、自分と同じ環境にある新規採用された人達の出方をみながら。そうした中、自分のことに関心を持ち、何かと話を聞いてくれる人に好感を抱き、頼りにするという構図になります。その「不安と警戒期」を経過すると、徐々に緊張感もほぐれ、チームにも馴染み、少しずつ、組織や集団に興味を持ち、掲げる目的などにも関心をもち始めるようになります。この頃には、リーダーや周りからの積極的な働きかけが大切で、仕事に関する面だけではなく、プライベートに関する事なども話せるような関係づくりが求められます。三つ目のステップは、チームの一員として目標等も共有化でき、その為の規範や規制はいとわれないなど組織人としての自覚が芽生えてくる時期です。更により進んだ四つ目の

段階では、集団への意識がより一層高まり、これまであまり関心がなかった競争等にも目を向けるようになります。そうして「私たち」という考え方も定着し始め、組織人としての意識が確立されていきます。更により進んで、組織やチームの雰囲気、伝統等を肌で感じ、組織が持つ誇りや使命感などが育まれ「団結心」が高揚する時期になります。最後のステップが、これらの過程を経てメンバー同士で自律的に調整等を図りながら、各人の役割分担や地位等をより明確にし目的に向かうというように進化していきます。

以上、新たな組織に加わろうとする時、一般的に人の心理がどう動くかを6つのステップにわけ見てきました。これは新採用になった職員のみではなく、人事異動により新たな部署に配属された場合もこれに準じた流れになるかと思えます。また、すでにチームの一員であったにしても、有事の場合等、新たな出来事ที่เกิดขึ้นた時などもこうした心理状態をいつたりきたりするものといえます。問われるのは、こうした心理状態に照らしどう周りが対応していくかです。ちなみに門外漢として勝手に語ると、多くのJAの場合、こうした流れを考慮することなく、新規採用職員でも当初から責任が伴う一人工

の仕事が与えられたりすることが多くあり、これは少子化で可愛がられ育ってきた彼らにとっては想像以上の負荷がかかり、「逃げ」か、「指示待ち」にならざるを得ない状況を作り出しているともいえます。また、中途採用においても「即戦力」が前面に出て、それが「居心地の悪さ」に結びつき、嫌気がさすのもある意味、必然ともいえ、これをクリアするのはかなりの強靱な心と、人並み外れた図々しさ等がなければ「組織に潰される可能性大」といっても過言ではないでしょう。しかも、よい悪いは別にして、JAには長年続いてきた「二重権力構造」のような重圧があります。職場における上下関係に加え、職場外では「俺らは朝、昼なしで、休みなど関係なく働いている。だから職員も」というような関係性が暗黙の内に漂ったりして、時代の変化と共に、求められる雇用環境は間違いなく変わってきています。これはJAきたそらちのみではなく、もしかするとJAグループとしての大きな課題の一つといえます。それがクリアできないと、今日の「働き手クライシス」をまともに受ける組織になりかねないと危惧する私がいるのです。

【著者】石田邦雄 (いしだくにお) 氏

1946年北海道新得町生まれ。(有)石田コンサルタントオフィス代表取締役、めでの研究室主宰。国鉄、会計事務所を経て中小企業診断士として独立開業。

現在は社会保険労務士、キャリアコンサルタントとして、組織改革や人材育成に携わる。人と企業のマッチングを目指し、中小企業大学校を初めJAカレッジなど、多くの団体、企業と携わる。「教えるよりも考える」、「学ぶより気づく」を柱に、体験学習を交えたわかりやすい研修が特徴。著書に「産業カウンセリング」や「縁を紡ぎ、人を育む」など多数。





後列左から▶滝谷智雄、川本雄太主査、斉藤利満、藤川憂也、楠木貴博主査
前列左から▶植田隼斗、河原秀昌課長、荒川美和、谷内たつ枝
四角枠：浅沼昭博主査



青果部 青果課 河原秀昌 課長

からのコメント

全22品目にわたる果菜・蔬菜・根菜・果物・果樹に関わる生産指導、集荷、販売の業務を担当しており、旬にあわせた地産地消のイベントも行っています。

「安心・安全で美味しい」きたそらち産の青果物を消費者の皆さんにお届けすることで農業のすばらしさを知ってもらおうと共に、地域と生産者の経営が持続可能なものとなるように鋭意努力して参ります。



後列左から▶横瀬路偉、柏倉隆芳主査、蓑口達矢主査
前列左から▶宇野誠一部長、堀了予主査、堀口敦暉
四角枠：相原明治



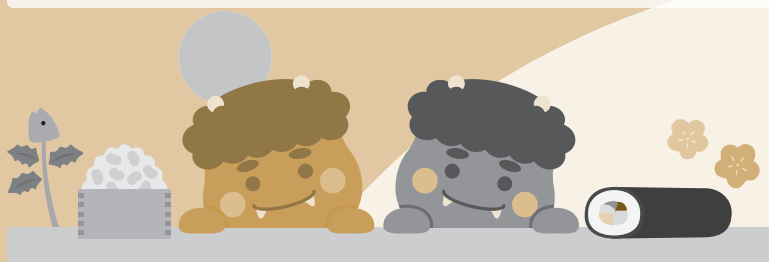
青果部 施設課 蓑口達矢 主査

からのコメント

青果部施設課では、雨竜育苗施設と、深川道の駅農産物直売所eciR（エシル）の運営を担っています。育苗施設では野菜や花、メロン、スイカ等、多くの品目の苗を育成していますが、最近はさつまいもやイチゴ苗の育成も盛んになっています。農作物は苗の出来によって作柄が大きく左右されるため、細心の注意をもって良質な苗の供給を目指して参ります。

深川道の駅農産物直売所eciRでは、当JA管内の四季折々の農畜産物を中心に、多くのお客様にご愛顧いただいております。

これからも、地域のお客様だけでなく道内外各地より来られる多くの方々に喜ばれる店づくりを目指して参ります。





後列左から▶伊藤勝成主査、藤本篤、米倉亮主査、志部谷勇治、木村ゆかり、田宮育美
前列左から▶佐藤恭丞、川田博行課長、松坂修一支所長、中村紘大
四角枠：佐野美弥子

雨竜支所 営農課

川田博行 課長



からのコメント

雨竜地区の水稲・畑作に関わる生産支援や米の集荷・保管・精算、各種事業活用に係る支援を担当しています。また、「うりゅう米」販売に関する業務も行っており、雨竜町産の美味しいお米を消費者の皆さんにお届けしています。これからも組合員さんとの信頼関係を重視し、身近に感じて頂ける部署を目指して参ります。

北竜支所 営農課

荒田勇次 課長

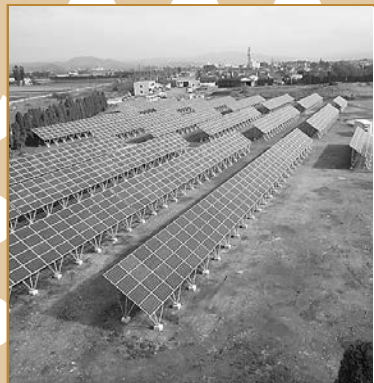


からのコメント

水稲・小麦・大豆・そばを中心とした農産物に関わる営農指導・集荷・保管・精算、各種補助事業申請、担い手の育成支援、「北竜ひまわりライス」の生産情報公表JAS関連業務・イベント販売などを行い、北竜町の安心・安全でおいしいお米、農産物を消費者の皆さんにお届けしています。これからも組合員さんや地域の期待に応えることを目指し、さらに皆様の身近に感じてもらえる部署となるよう努めてまいります。



後列左から▶星野忠雄、尾崎壮、阿部孝司主査、三宅創主査、山田雅典
前列左から▶長谷川朋子、鷲尾公敏支所長、荒田勇次課長、内村奈緒



JAきたそらち太陽光発電所 発電実績

○令和5年12月実績

発電電力 9,677kwh

計画対比 Δ3,187kwh
前年対比 490kwh

売電金額 387,080円 (40円/kwh)

営農懇談会開催

令和5年12月5日～12月8日
各地区で行われました懇談会内容をお知らせ致します。

総務関係

●職員数の動向について、正組合員数は、合併時の46%程度となつているが、職員数は合併時と比べ70%程度となつている。今後職員の見通しをどのように考えているのか。

●事業そのものを効率的に運営して職員数を削減していこうと考えております。一方で職員の募集はかけていますが応募が全くない状況にあり、このような状況が今後も続くようであれば、まだまだ事業の効率化を求めて行かなければなりません。

●一已税経の入っている事務所(旧農機センター)について今後取り壊す予定はあるのか。

●取り壊す予定は現状ありません。一已整備工場の事務所を旧農機センターの1階へ移転する予定であります。

●担い手支援室があつたころは同室が中心に地区を回

つて色々な意見を聞いてもらつていたため復活してほしい。

●融資課だけでなく営農含めて出向く体制をとつていますが、まだまだ不十分と認識しております。出来るだけ強化しながら、今後の状況を見て判断させていただければと思います。

●若い職員の離職率が高くなつていて中堅の職員の負担が高くなつていてのではないかと。自分たちとしても若い職員を地域として育てていかなければならないと思つているが、今後の採用等についての考え方は？

●若い職員の離職が毎年発生しているのは事実です。それは当JAに限った事では無く、他JAや他業種においても同じ状況であり、単純比較した場合当JAの離職率は低い方だと認識しております。毎年減少した職員数は新採用で募集しておりますが、売り手市場が強く、満足のいく採用が出来ず他の職員に若干の負担が生じているのも事実であります。今後は新卒だ

けではなく中途採用の募集にも力を入れて採用活動を進めて参りますが、良い人材の確保は大きな財産となりますので組合員の皆様の周囲にも対象となるべき人材がいらつしゃればご紹介をお願い致します。

●市内支所の事務所について、最終的には解体するという事で良いのか？

●最終的にはその方向性ですが、詳しい内容については3月の懇談会時に提案いたします。予定としては令和10年には移動店舗車となりますが、すぐに解体するわけではなく、店舗が存続する間はATMの稼働も行つていきたいと考えております。今後の店舗に係わるコスト等を考慮し、都度協議しながら取進めて参ります。

●老朽化による施設の再編について会議はコミセンを使い、税経委員会は本所やMEMの旧Aマートを使うとのことだが、税経に携わる人も、利用する組合員も、時間と労力を要するようになつてしまふ大変だと思つた。また、自動車工場やスタン

ドは、再編と称して廃止することも無きにしも非ずと思つた。今まであつたものがいきなりゼロになるのは負担でもあり、これだけ厳しい農業経済の中で、本所に出向かなければならないことが増えれば、燃料代もかさんでくる。組合員の負担が限りなくゼロに近づくように、検討していただきたい。

●現時点で施設の解体の時期は具体的に決まつておりません。既存の施設は出来る限り活用したいと考えております。実際いつになるかという話ですが、数年のうちには税経委員会においても組織の体制を検討されていくかと思つています。それらも踏まえてどちらに持つていくのが良いかという判断をさせて頂きます。他の地区でも意見がありました。地区でも意見があったほうが良いなど、そのような意見も伺いながら方向性を出して参ります。

●どのような保険があるのかを調べ今後前向きに検討して参ります。

●どのような保険があるのかを調べ今後前向きに検討して参ります。

●どのような保険があるのかを調べ今後前向きに検討して参ります。

●意見要望事項
●対応等



金融共済関係

●年金受給額が減少する可能性がある中、資産運用（NISA（投資信託）やiDeCo（確定拠出年金））について、特にiDeCoについては、特にiDeCoのみならずプランがJAアプリで掲載されているが、JA独自で取組みをしないのか？

●NISA（投資信託）については道内では北海道信連のみの取扱いとなります。当JAでは取扱いが少なく、最近廃止した経過があるため当面取扱いする予定はありません。iDeCo（確定拠出年金）につきましては、各JAで取扱いを始めているため、今後検討していきます。農業者年金制度もございしますので、まずそちらをご検討願います。

●北海道独自のクミカン制度はネットで取引できるようになるか？

●全道JAから要望を上げていますが、北海道独自のシステムのためコストがかかることから現実的に無理である回答を信連・農林中金から頂いています。現状可能なのは、普通貯金口座に資金を移動させ、ネットバンクを利用する方法です。引続き要請致しますが実現

性は低いものと思われれます。

農業振興関係

●市内新規就農者について話をあまり聞かなくなった、現状はどうか？

●次年度2名の新規就農者が新たに営農をスタートさせる予定です。また、現在地域おこし協力隊に9名が参加しており、将来市内で就農頂けるよう関係機関と連携し支援して参ります。

●水田の1か月水張り確認について水抜けが多いと課題の記載があった。その場合再生協としてのどのような対応確認をしたのか教えてほしい。

●申込者で数名水抜けが激しく、水張り確認を断念した方もいました。再生協としては基本3回（始め、中間、終わり）の確認を実施しており、その時点で湛水状態でないければ認められないと説明しています。

●デイワークの運営費に対して現在補助金が出ているが将来補助金が打ち切られると聞いた。将来デイワークの運営費をどこが負担するのか？

●将来、利用者に使用料を負担してもらう可能性もあります。その場合農協内で

協議していくことになると思います。

●現在、JAコネクトでFAXや取りまとめが来ているが、現段階では簡単な出欠確認の取りまとめは出来るものの、詳しい内容の取りまとめになると、紙（FAX）での返信となっている。面積調査など様々な取りまとめ・調査物をJAコネクトで出来るようにしてほしい。

●JAコネクトのシステム・技術的に可能なか確認し、対応させていただきます。

●過去には担い手支援室で補助金の申請も手伝ってもらっていたが、ハードルの高い補助金ばかりで使える補助金が少ないため、戦略的に地域にお金を呼び込むことを行ってほしい。

●補助金申請の関係は現状、農業振興部となっておりますので、窓口として対応できるように取り進めて参ります。



販売関係

●気候温暖化に伴い水稲栽培について要望したい。本年、高温障害により品質の低下があった。本州の例も踏まえ栽培方法を検証する時期に来ていると思う。普及センターをはじめ各研究機関にJAからアプローチして頂きたい。

●温暖化対策は北海道としても技術的に確立していかなければいけないと思えます。ホクレン等関係機関を通じ取り進めたい。

●今できる技術は、過去からの技術継承です。来年も起こる可能性があり、出穂までは冷害対策、出穂以降は高温対策、特に出穂後3週間は夜間に水を入れる等過去からの技術しか今のところありません。異常高温のため、これに合わせた技術も必要となります。品種改良については、省力化・高温対策・良食味の米が育種されるまで数年かかると予想されますが、技術対策と合わせて要請して参りたい。

●高温に強い稲の品種ができるほど、低温に弱くなると聞いています。そのことを見極めるのは難しく、今できることは基本技術の励行であると考えます。要望の

あった内容について、これから議論し取り進めて参ります。

●これからの北海道米「ゆめぴりか」の位置づけについてどう考えているか。営農計画書の単価は変わらず、ななつぼしよりコストを掛けて作付けしているがメリットが少なくなっていると感じる。

●「ゆめぴりか」の位置づけは、北海道米の中でハイブランドとして今後も販売していく品種ですが、「ななつぼし」の価格が上がってきたため価格差が無くなってきたのが現状です。道外ユーザの話ではお米の消費は全体的に下がってきているが、「ゆめぴりか」は伸びていると聞いています。

●現状の価格を崩さないためにも全道2万haを上限に作付面積を配分し価格維持に努めています。

●営農計画書の策定に当たり米単価がいくらになるか気になっていて。昨年も同様で、過年度産米、超過米の精算について最終的な金額が読み取れず、改善されるものと思っていたが変更は無かった。主食用米一括りになっており、超過米の欄を増やす等わかりやすくして欲しい。

●資料を簡素化しており申

し訳ないといいです。今回、2、3年産うるち米の最終精算がされますが、資料編成までに間に合わず今回の資料は概算金額の記載となっております。最終精算の内容につきましては、3月の営農懇談会等で改めてお知らせします。

●本年、北海道米全般にタンパクが高い状況であった。本場にタンパク仕分けをするのが美味しい米を見分けることに繋がるか疑問に思う。昨年の7・5%と今年の9・0%は何が違うのか、今後を含め検討していることがあればお聞かせ願いたい。

●本年のタンパク格差は仕分9の高タンパク米のみ△100円となります。タンパク仕分けが必要かという点では、品種によって差はありますが、低タンパク米は市販用、高タンパク米は業務用と用途別に販売してきた経過にあります。食味試験を行っていないことから昨年との食味の差はわかりません。「ゆめびりか」は基準品が3割、基準外が7割となっております。ホクレンでは、八十九のブランドで販売を予定しています。第2区分・第3区分の格差は少なくなると予想されます。本年、当初概算金の他

に3回の追加払いがあったことを踏まえ、タンパク仕分けにご理解願います。

●営農計画の算定上、輸出用米と主食用米との金額差が大きいと感じる。

●農協としても精算単価を上げていく方向で話をしていきたい。また、地域農業再生協議会の検討が必要ですが、産地交付金を活用し主食用米との差が縮まるような方法も検討の余地があると考えます。

●主食用米の生産量を増やしていきたい、新市場開拓用米も需要があるので増やしていきたいとあるが、新市場開拓用米の価格が低いので、農協としてどのような方針なのか考えを伺いたい。新市場開拓用米の枠を確保するという事はわかるが、それで損をするというのは別の話だと思ふ。

●基本的には主食用米を作っていたが、第一優先ですが、残念ながら米需給の緩み縮りが繰り返すというのが実態であり、主食用米の需要が下がったためにも、新市場開拓用米の枠を維持していかなければならないと考えています。主食用米と新市場開拓用米の価格差を埋めるために、産地交付金の活用等を考えて参りたい。

●うるち米概算金について、1回目の300円の追加について当初から出すことはできなかったのか。

●ななつぼし12、500円と決まった時点では、農協として把握はできていませんでした。その後、本年の作柄・品質をみて、全道共販会議で決定し報告させていただきました。

●最初の概算金を思い切った金額に設定してはどうか。

●集荷率を少しでも高められるような概算金設定を考えていきます。

●「ゆめびりか」の種子配分について、どのような配分方法をしているのか。マツトとポットでは種子の使用量が違う。

●ホクレンから配分される種子量で配分しています。供給種子量も育苗方式に基づき計算しています。

●来年度主食用米が不足し、輸出・加工も取組拡大するなかで、次年度の目安はどのようになっていくのか。

●基本的には、主食用米の作付けを増やして欲しいですが、需給が均衡している中で北海道米だけ目安を増加することは難しいと考えるので、目安の範囲内で最大限に作付けいただきたい。輸出用米については、令和6年度は2、310トン

目標に取り組んで参りたい。また、主食用米の需要が減少する中で、水稲作付け維持の観点からも輸出用米や政府備蓄米といったものを農協として活用して参りたい。

経済関係

●資材の伝票（適格請求書発行事業者登録番号記載）を紛失した場合にどのような対応をしてくれるのか？

●伝票紛失の場合、再発行を検討しています。件数も多いと想定されることから明細書を作成中です。

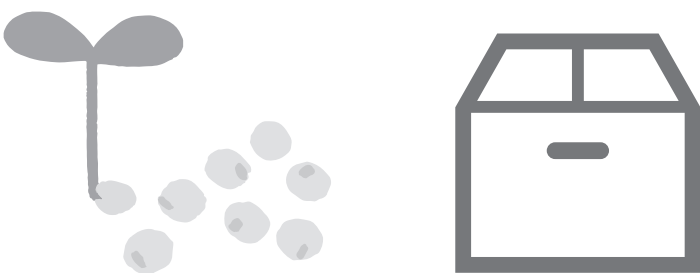
●資材店舗の日曜定休日となつて2年が経ちましたが、日曜日でも段ボールを購入したい時もあるため、花卉センターで仮伝票を発行し、資材店舗が営業している日（平日）に支払うなど、花卉センターでも段ボールを取り扱うことはできないでしょうか。（要望）

●資材店舗の日曜定休日は土曜日午後～日曜日の利用人数を踏まえて定休日にした経緯があります。可能な限り日曜日前の購入や配送で資材店舗をご利用いただきたい。また、ご貴重な意見として内部で協議して参ります。

●R6年度の大豆の種子の品質は大丈夫なのか

●しっかりとした種子を供給できるようにホクレンと連携をとって参ります。

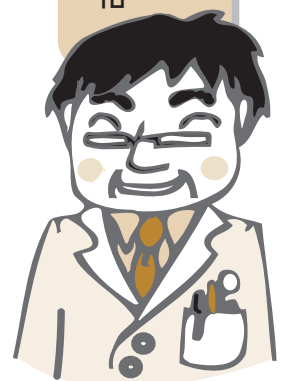
●要望していた農作業安全講習会を農協で開催いただき、感謝しております。若い方も多く沢山の参加者がいてとても驚いた。今後もこのような講習会を継続して開催して頂きたい。（意見）



乗り物酔いとは？

医療法人社団本間クリニック 本間

裕



乗り物酔いは、「動揺病」とも呼ばれ、車やバス、電車、船など乗物の揺れ、遊園地やテーマパークのアトラクションなどでも引き起こされることが知られています。乗り物酔いには耳、目、脳などが関係しています。耳の一番奥にある三半規管と耳石器（じせつき）が重要で、これらは平衡感覚を感じる器官です。三半規管にはリンパ液が入っており、液体の流れから体の回転を感じ取っています。耳石器には、平衡砂と呼ばれる炭酸カルシウムの結晶が入っており、この重さによって体の直線方向の動きを感じています。三半規管と耳石器で捉えられた体の位置・揺れや速度などの情報は脳へと伝えられます。乗物による不規則な加減速、繰り返される発車や停車、右、左折などによる前後左右上下への揺れが強い場合に、平衡感覚の情報と、実際に目で見る視覚の情報とあいだにズレが生じるようになります。そのような時に、脳が混乱することで引き起こされる自律神経系の反応が、乗り物酔い、「動揺病」で、めまいや吐き気・嘔吐などの症状があらわれます。また嗅覚からの不快感やストレス・不安などの精神的因子も乗り物酔いに関与していると言われています。

三半規管や脳の働きが未発達な2歳頃までの乳幼児では、乗り物酔いを生じないといわれています。3歳ごろから次第に酔いやすい子供と酔わない子供の差が出てきます。小学校入学頃から多く見られるようになり、高学年になるほど増える傾向にあります。小学校高学年から中学生がピークで、その後の成長とともに少なくなると言われていますが、成人でも乗り物酔いに悩む人は少なくありません。年齢とともに乗物に乗る体験を重ねることで、脳がそのスピードや揺れに慣れ、乗り物酔いを起こさなくなっていくます。しかしながら、乗物に乗る機会の少ない人は、やはり乗り物酔いしやすくなります。また、乗物への不安が強い人や精神的なストレスを抱えている人も乗り物酔いしやすいといえます。起立性調節障害の子供は乗り物酔いしやすいことも知られています。

また、乗り物酔いに悩まされている人には、過去の記憶がストレスとなっており、乗り物酔いの原因のひとつとなっている場合もあります。楽しい旅行も、乗り物酔いする人にとっては辛く憂鬱なものでしょう。乗り物酔いの予防方法は、寝不足をしない。消化の良い食事を摂る。前の方に座る。乗車中は本を読まない。近く見ないで、できるだけ遠くを見る。流れていく風景を眼で追わない。窓を開けて新鮮な空気を吸う。乗り物酔いの予防薬を飲む、などです。乗り物に酔いやすい人は、どうせまた乗り物酔いするんだよね、なんて考えてしまいます。そんな気分であれば、誰でも気持ち悪くなるものです。予防法をいろいろ試してみてください。ひとつひとつの小さな成功体験を増やしていく、自信をつけることが重要です。



経済部からのお知らせ

経済部 作業工賃表

令和6年2月1日改訂

価格：税込

項目		区分		単価
整備工場 整備工賃		給油所を除く		9,900円/時
整備工場 出張料金 (給油所を除く)	きたそらち農協管内 搬送車	高速料金は実費		8,800円/回
	きたそらち農協管内 小型車	高速料金は実費		5,500円/回
	きたそらち農協管外	1kmごとに 500円加算		8,800円/回
	作業料	ロードサービス特 殊作業時間除く		9,900円/時
	ロードサービス特殊作 業料 脱輪・横転・引出し	クレーン・ウイン チ使用		33,000円/回
整備工場 洗車機使用料 (給油所を除く)		冷水		4,400円/時
		温水		6,600円/時
バッテリー充電		D31クラス以下		1,100円/回
		E41クラス以上		1,650円/回
タイヤ脱着	普通車 軽自動車 ミニバン SUV：4H 5H車	15インチ以下		880円/本
	1BOX RV車 輸入車 ハイエース、ランクル、6H車 貨物車	15インチ以下		1,100円/本
		16インチ以上 4t以下		1,650円/本
		4t超		2,200円/本
タイヤ入替	普通車 軽自動車 ミニバン SUV：4H 5H車	15インチ以下 (バランス調整含む)	バルブ交換別途 500円	3,080円/本
		16インチ以上 (バランス調整含む)	バルブ交換別途 500円	3,960円/本
	1BOX RV車 輸入車 ハイエース、ランクル、6H車 貨物車	15インチ以下 (バランス調整含む)	バルブ交換別途 500円	3,850円/本
		16インチ以上 (バランス調整含む)	バルブ交換別途 500円	4,730円/本
		リング式ホイール		4,400円/本
ホイールバランス	普通車 軽自動車 ミニバン SUV：4H 5H車	15インチ以下		1,430円/本
		16インチ以上		1,980円/本
	1BOX RV車 輸入車 ハイエース、ランクル、6H車 貨物車	15インチ以下		1,980円/本
		16インチ以上		2,750円/本
持込み作業	持込エンジンオイル交換			1,100円/台
	持込オイルエレメント交換			1,100円/個
	持込オイルエレメント廃棄			110円/個

項目		区分		単価
パンク修理	チューブレスタイヤ 外面修理・ゴムバルブ交換	15インチ以下	2ヶ所以上の場合、 1ヶ所追加ごとに 500円加算	1,980円/本
		16インチ以上	2ヶ所以上の場合、 1ヶ所追加ごとに 500円加算	2,200円/本
	チューブレスタイヤ 内面修理	15インチ以下	2ヶ所以上の場合、 1ヶ所追加ごとに 500円加算	3,080円/本
		16インチ以上	2ヶ所以上の場合、 1ヶ所追加ごとに 500円加算	3,630円/本
	チューブ修理	15インチ以下 (バランス調整含む)	2ヶ所以上の場合、 1ヶ所追加ごとに 500円加算	2,750円/本
		16インチ以上 (バランス調整含む)	2ヶ所以上の場合、 1ヶ所追加ごとに 500円加算	3,630円/本
リング式ホイール		2ヶ所以上の場合、 1ヶ所追加ごとに 500円加算	4,400円/本	
廃タイヤ処理料	タイヤ	普通車 軽自動車		275円/本
		RVタイヤ (195/70R15以上)		440円/本
		トラック (15~17.5インチ)		440円/本
		トラック (18~22.5インチ)		825円/本
	タイヤ ホイール付	普通車 軽自動車		385円/本
		RVタイヤ (195/70R15以上)		825円/本
		トラック (15~17.5インチ)		825円/本
		トラック (18~22.5インチ)		1,430円/本
	スパイクタイヤ	普通車 軽自動車		495円/本
		RVタイヤ (195/70R15以上)		935円/本
		トラック (15~17.5インチ)		935円/本
		トラック (18~22.5インチ)		1,760円/本
	スパイクタイヤ ホイール付	普通車 軽自動車		605円/本
		RVタイヤ (195/70R15以上)		1,100円/本
		トラック (15~17.5インチ)		1,100円/本
		トラック (18~22.5インチ)		2,090円/本
ホームタンク内の燃料油移動 ホームタンク本体の移動 (きたそらち農協管轄内に限る)		作業1時間につき2,500円/1名 ※2名で1時間の作業をした場合 1時間×2,500円×2名=5,000円 なお、最低単位は30分ごと		2,750円/時
オイル交換		5W-30 10W-30		1,100円/L

※SUV=乗用車タイヤ装着車 RV車(クロカン) =ランクル、ハイラックスなど4WD専用タイヤ装着車

※タイヤ脱着は交換するタイヤのインチが異なる場合、大きい方の価格が適用されます。

例) 普通車 ミニバン：16インチ⇒15インチへの交換は、1,100円/本になります。

クロスワードクイズ

提供元:クロスワード.jp

1		2		3		4	5
		6	7			8	
9				10			E
				11			
	12		13			14	15
16			17		18		
	19			20	21		B
22			23				
C							

A	B	C	D	E
---	---	---	---	---

【タテのカギ】

- 1 急いでしなくてはならない仕事や任務。
- 2 円の中心を通り両端が円周上にある直線「○○○○○5mの～」
- 3 物の表面をおおう薄い皮。「油の○○ができる」
- 4 勢いや力「○○○○○を広げる」
- 5 国や団体の大切な秘密「○○○事項」
- 7 一番下の面。一番おくの方。
- 10 けもの・魚・虫などを数える言葉。
- 11 電話で話をする事。
- 12 2月の次の月。
- 13 文章や話の要点を短くまとめること。「話を○○○○すると…」
- 15 英語で砂糖のこと
- 18 「打」「持」「指」などの漢字の左側の部首
- 21 服装・言動がきどっていて、嫌みに思われること。「○○なセリフ」

【ヨコのカギ】

- 1 朝鮮半島の辛い漬物
- 3 劇場・乗り物などの座席がすべてふさがること
- 6 物事のなりゆきを前もっておしはかること「物事を○○○する」
- 8 言葉や文や記号が表す事柄や内容。理由や意図。
- 9 人気があつて、特にもてはやされる人「○○○○芸人」
- 10 二つ以上の数量を比較したときの割合
- 11 月が明るく照る夜
- 12 いいものを採り上げて用いること
- 14 かみをすいたり、かみ飾りにしたりするもの
- 16 思ったことや感じたことを文字で書き表したもの
- 17 土地の高い方。より優れている方。「一枚○○○」
- 19 出演者が支度をしたり、休んだりする部屋
- 20 壁面・天井などに描かれた絵画
- 22 針のような葉を沢山つける常緑樹「○・竹・梅」
- 23 研磨剤・洗剤などをまぜて作った、みがき粉

12月号の正解は

「フユヤスミ」でした。

正解者の中から抽選で3名が選ばれました。

深川市	桑野かずえ	様
深川市	藤田 眞一	様
深川市	日当 文子	様

応募方法

正解者の中から抽選で3名様に農協全国商品券をプレゼント。ホームページ応募フォーム・ハガキ・FAXで①クイズの答え②住所、氏名、年齢③身近な出来事④農協だよりに対するご意見ご要望を記入の上ご応募下さい。

締切2月29日消印有効で当選者とクイズの答えは令和6年4月号に掲載します。

【送り先】〒074-0015 深川市深川町字メム10号線山3線5850番地

JAきたそらち農業振興部営農企画課 FAXの場合は 0164-22-1228

【ホームページ応募フォーム】URL: http://www.ja-kitasorachi.com/application_form/

※ご本人以外による応募は抽選の対象外とさせていただきます。



一月俳句

● 雨竜俳句会

晴れの日や遠出の買い物箱蜜柑
除雪車の後に広がる銀の道
湯冷めする指折りながら句は床で
温もりの残る膝掛け渡されり
目が覚めて音せず外は晴か雪

北川 満江
小山 邦男
松木 五月
宮武めぐみ
吉見サヨ子

● 「道」俳句会 北竜支部

寒鯉の一泡描く計りごと
雨上の光る名をもつ種選ぶ
根深汁啜るいつもの差向い
引き潮のこと子ら帰る二日かな
家長たる漢の顔や餅をつく
口角を上げてニッコリ雪見猫
初詣母似の影を追いやら
初鏡よそゆき顔の紅をさす

山本 玲子
山岸 正俊
阿部れい子
吉尾 広子
山下 好晴
中島 雅子
宮脇美和子
佐藤美智子

● 土筆俳句会

雪霏ひと我がふる里は埋もれて
初稽古項の白くおくれ髪
福笑ひ大きく笑い平和来い
穏やかに百八の鐘去年今年
綿雪の並ぶ山の背空青し
大寒の静かに迫る生まれし日
丸餅に変えて祝いの雑煮かな
賀状書くまた会えぬ友年重ね
年玉をあげる幸せ皆笑顔
吹雪予報白原に臥す群からす

高尾美津子
池田 美知
山川 輝子
南川富美子
佐藤英三子
滝口富美子
菅原 優子
森田裕美子
沼田留美子
小橋 厚子

第13回理事会〈令和5年12月27日開催〉以下の事項について決議・承認されました

1. 関係団体等諸会議について
2. 会計監査人の再任の決定（内定）について
3. 令和6年度監事監査方針について
4. 内部監査報告について
5. 組合員の加入脱退について
6. 11月末推定決算について
7. 財務報告及び事業実績について
8. 決算実地棚卸の立会について
9. 年末訓示の取り進めについて
10. 職員の人事及び業務事故について
11. 令和5年度提案表彰について
12. 貸出金の貸付報告について
13. 大口貸出先（信用供与1億円超）の概況について
14. クミカン精算状況について
15. 令和5年度 JA 青年部女性部とJA常勤役員との懇談会報告
16. 令和5年度 地域づくり総合交付金（道費）に係る交付内定について
17. 令和6年産米の「生産の目安」について
18. 令和2年産 うるち米最終精算について

19. 令和3年産 うるち米最終精算について
20. 令和3年産 うるち米加工輸出最終精算について
21. 令和3年産 うるち酒米最終精算について
22. 令和4年産 うるち・もち米粉、飼料用米最終精算について
23. 令和5年産 超過米出荷奨励金の支払いについて
24. 令和4年産 民間流通小麦最終精算について
25. 令和4年産 JA 共計大豆最終精算について
26. 令和4年産 そば（一般品）最終精算について
27. 令和4年産 雑穀最終精算について
28. 畜産物の販売実績について
29. 青果・花き集荷販売実績について
30. R5 青果・花き生産振興対策（実績）について
31. R5 農薬大口奨励金の支払について
32. 経済部事業実績について
33. 北竜和SSレギュラーガソリン水混入事故における経過報告について

議案第1号 令和5年度第3四半期随時監査の結果について

議案第2号 令和6年度内部監査部門事業計画について

議案第3号 組合員の出資金持分譲渡について

議案第4号 委員会委員の構成について

議案第5号 委員会委員長・副委員長の選任について

議案第6号 債権の売却について

議案第7号 貸出金の貸付について

議案第8号 系統外販売に係る取引先の追加について

議案第9号 令和5年産 小麦二次概算金支払いについて

議案第10号 令和5年産 幌加内そば共計概算金の支払いについて

議案第11号 令和5年産 雑穀概算金支払いについて

組合員の動き

（令和5年12月末日）

		当期首	加入	脱退	当月末
正組合員	個人	1,250	5	44	1,211
	団体	102	3	0	105
准組合員	個人	5,477	75	59	5,493
	団体	271	5	0	276
正組合員戸数		893	1	28	866

退職者

大変お疲れ様でした

令和5年12月31日付

◆経済部多度志自動車整備工場 齊藤 徹

令和6年1月31日付

◆販売部畜産課 大岡 由貴



金融共済部からのお知らせ

JAからのお役立ち情報

◎共済を活用する3つのメリット

<お問い合わせ先>

● JA共済 本所 TEL 0164-22-6619 多度志支所 TEL 0164-27-2111
 吾江支所 TEL 0164-25-1111 雨竜支所 TEL 0125-77-2331
 ● JAきたそらち 深川支所 TEL 0164-22-2171 北竜支所 TEL 0164-34-2280
 納内支所 TEL 0164-24-2211 幌加内支所 TEL 0165-35-2024

活用
ポイント
1

死亡共済金等の非課税枠の活用 相続税の節税対策に

生命共済の死亡共済金等には、相続税の非課税枠が設けられているため、現金で財産をのこすより、相続税額を軽減する効果があります。

相続人が受け取った場合の死亡共済金等の非課税枠
500万円×法定相続人の数

例えば 法定相続人の数が4人(配偶者と子3人)の場合
500万円×4人=2,000万円



例えば1億円の相続財産があった場合…
 全額現金で相続すると 相続税は **262万円** に
 現金で8,000万円+死亡共済金2,000万円を相続すると 相続税は **137万円** に

注意 「死亡共済金受取人」が相続人以外では、非課税枠を利用することができません。また、非課税枠は、他の生命共済(保険)の死亡共済金(保険金)と合算して、(500万円×法定相続人の数)が限度となります。

活用
ポイント
2

死亡共済金は遺産分割の対象外 受取人指定で「争族」防止に

残されたご家族の相続争い「争族」。この「争族」を防ぐためには「遺言」が一般的に有効ですが、遺言には法律で定められた要件等があり、遺言によりトラブルを防ぐためには、一定の知識が必要です。そんなとき、生命共済を活用するととても便利。死亡共済金受取人をご指定いただくことで、あらかじめ財産をお渡しする方を決めることができます。そのうえ、受取人の固有財産として扱われ、遺産分割の対象にはなりません。



のこしたい人に のこせる。
 同居して面倒をみてくれている長女にお礼がしたい。
 遺産分割の対象外。
 家を継いでくれる長男に遺産を多くのごしたい。

活用
ポイント
3

スムーズな死亡共済金の受取り 相続時の急な出費に

財産を預貯金に入れたまま、お亡くなりになった場合、残されたご家族が思うようにお金を引き出せなくなる場合があります。そこで、共済を活用した場合、死亡共済金受取人は、すみやかに死亡共済金を受け取れます。これにより、葬儀費用や生活費、納税資金等、すぐに必要な費用に対応することが可能です。

◎令和3年8月 公的介護保険制度改正(補足給付の預貯金要件の見直し)

補足給付の預貯金要件の見直し	R3.7月まで →	見直し後(R3.8月~)
年金収入等≦80万円以下(第2段階)	単身 1,000万円 夫婦 2,000万円	単身 650万円、夫婦 1,650万円
年金収入等80万円超120万円以下(第3段階1)		単身 550万円、夫婦 1,550万円
年金収入等120万円超(第3段階2)		単身 500万円、夫婦 1,500万円

一定の資産(所得や預貯金等)がある場合、介護保険施設の負担額が大きくなるのはご存じですか?
 介護保険施設を利用する方の食費・居住費については、助成(補足給付)がありますが、その資産要件について、令和3年8月から見直しされています。(左記を超える資産がある場合は助成を受けられません)
 この資産には**共済**は含まれないため、資産を預貯金等から共済に移すことで、将来の介護施設費用を抑える効果が期待できます。

※この資料は概要を説明したものです。ご検討にあたっては、「重要事項説明書(契約概要・注意喚起情報)」および「ご契約のしおり・約款」を必ずご覧ください。 【23012102027】